

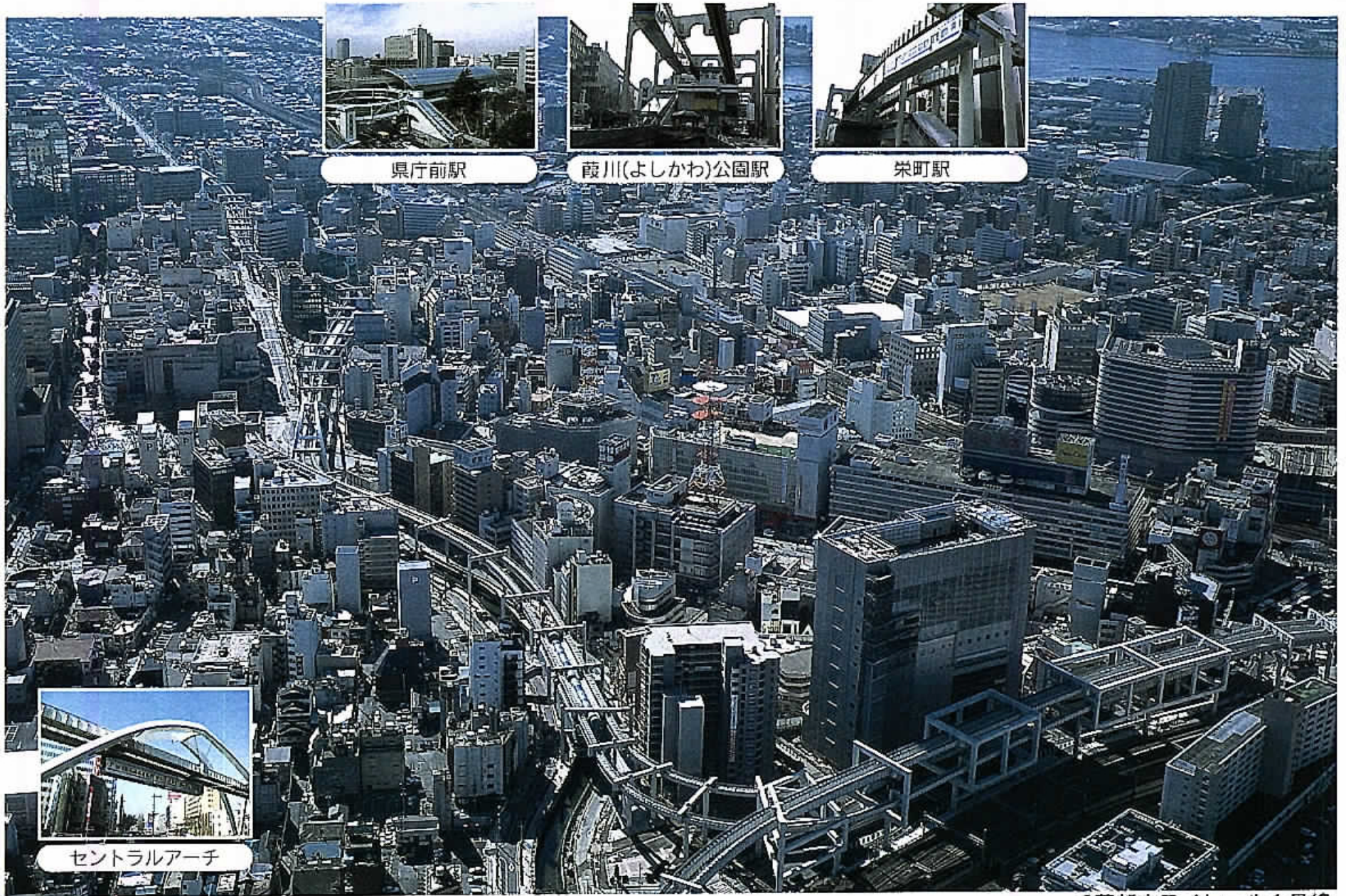
ちば市議会だより



No.24

平成11年(1999年)4月

発行/千葉市議会
編集/千葉市議会事務局
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1



千葉都市モノレール1号線

可決した主な議案

第1回定例会のあらまし

平成11年第1回定例会が、2月16日から3月5日までの18日間の日程で開かれました。
この定例会では、平成11年度予算および条例の制定など市長提出議案66件を審議し、すべて原案どおり可決・同意しました。
さらに、議員提出議案10件、意見書4件、決議3件、請願6件を審議したほか、各会派の代表質疑が6名の議員により行われました。
なお、11年度予算案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、審査しました。

総額六千二百三十七億六千三百万円の新年度予算を可決

《予算》

平成11年度一般・特別会計予算
平成11年度予算は、厳しい財政状況において、保健・医療・福祉、環境、教育などのソフト面の施策の拡充や介護保険制度の施行に向けた体制整備を推進するとともに、道路、下排水、廃棄物処理などの生活関連施設整備の推進や魅力ある都市づくりを計画的に推進するため、街路、土地区画整理などの都市基盤整備や都市機能の充実に努めるほか、地域経済の活性化と中小企業対策の充実を図るため、中小企業者への金融支援策や商店街活性化策の推進に努めるなど、前年度と比較して4.3%増の総額六千二百三十七億六千三百万円となります。このうち、一般

会計予算は、前年度と比較して0.5%増の三千三百三十六億五千万円に、特別会計(企業会計を含む18会計)は、9.2%増の二千九百一億一千三百万円になります。
平成10年度一般会計補正予算
国庫補助金などの決定に伴い、介護保険制度の施行に向けた福祉オンラインシステムの修正経費や、街路、土地区画整理などの都市基盤整備費、校舎買収事業費など、合わせて百七十九億五千八百万円を追加します。
平成10年度特別会計補正予算
下水道事業会計など企業会計を含む9会計に、合わせて三十八億八千六百万円を追加します。

《条例》

千葉市職員定数条例の一部改正
職員の定数を減少するため、条例の一部を改正します。
千葉市新総合ビジョン審議会設置条例の制定
新総合ビジョン審議会を設置するため、条例を制定します。
千葉市外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定
財政援助団体などに対する包括外部監査および個別外部監査を導入するため、条例を制定します。
千葉市老人福祉センター設置管理条例の一部改正
新たに花見川いきいきプラザを花見川区三角

町に設置するため、条例の一部を改正します。
千葉市地下水浄化事業推進基金条例の制定
地下水の水質浄化事業を推進することを目的として、地下水浄化事業推進基金を設置するため、条例を制定します。
千葉市体育施設設置管理条例の一部改正
北清掃工場の余熱を利用した、こはし温水プールを花見川区三角町に設置するため、条例の一部を改正します。
千葉市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正
現在、美浜区真砂にある消防局と中央区中央にある中央消防署との複合施設として、中央区長洲に位置を変更するため、条例の一部を改正します。

千葉市議会議員選挙
投票日は4月11日です。
千葉県議会議員選挙

市民自由クラブ

商店街の活性化と中小企業の振興について
 本年度における商店街活性化に向けての商店街対策について、
 また、中小企業資金融資制度について、
 本年度は、新年度ではどのような拡充を図ろうとしているのか、具体的な内容について伺った。



ポイントカードを利用する消費者 (若松商店会)

商店街のポイントカード
 導入事業に対する補助金や、市内の商店街が独自の発行するプレミアム分を併せた期限付き商品券の発行に対して、プレミアム分の10%を商店街の規模に応じ助成することにより、商店街の販促効果を図ってほしい。さらに、富士見商店街の環境整備事業に対する補助と、わくわく商店街活性化事業のイベント事業助成の拡充を図る。
 また、中小企業資金融資制度については、円滑な資金を供給するための融資枠を330億円から480億円に拡大する。

ISO14001の認証取得について
 昨年の9月議会で、ISO14001の導入について、当局の見解を伺ったが、その後の検討状況や体制づくりなどについて伺った。
 また、ISOの取得は、環境問題にとまらず、職員の意識改革につながる。本来あるべき行政の姿を一層推進していくという21世紀を切り開くキーワードとなると思うが、見解を伺った。
 平成10年度中に関係各課で構成するプロジェクトチームを設置し、取得の準備を進めることとしている。このプロジェクトチームにおいて、環境方針の設定や環境目的・目標の設定、さらには環境マネジメントシステムの構築などの検討を行い、認証取得の要件整備に向けて準備を進めていく。
 また、ISO14001の認証を取得することにより、

市政会

ISO14001の認証取得について
 職員意識改革が図られ、効果的な行政運営の実現が期待される。行政改革を推進するうえで、ひとつのシステムとして有効であるものと認識している。

ダイオキシンの対策と環境浄化技術について
 埼玉県和光市や沖縄県具志川市などの関係する機関の調査・研究をして、本市でも実証試験などをするよう提案するが、見解を伺った。
 また、微生物を利用した環境浄化技術の応用に関する本市の対応について伺った。
 和光市のダイオキシン抑制システムの実証試験の結果については、ダイオキシン抑制効果を示されており、貴重なデータであるとして受け止めている。本市においても、環境庁が現在、市内で実施している「土壌汚染浄化新技術確立の実証調査」に積極的に協力している。引き続き、国の指針の策定状況などを注視しながら対応していきたい。



ダイオキシン関連の新聞記事

民主新政クラブ

情報化の推進について
 今後さらに進展すると期待されるネットワーク社会への的確な対応を望むが、平成11年度に策定する本市の情報化計画の基本的な考え方と策定の体制を伺った。

新市立病院の救急医療体制について
 計画中の新市立病院では、救急医療体制を整備するが、救急ステタッフの配置も含めて伺った。
 また、市内全ての救急告示病院が救急患者の受け入れをできないとき、特に深夜の新市立病院の対応はどのようなものか。
 新市立病院では、海浜病院や地域医療機関との機能分担や連携の観点から、内科、外科、整形外科、産婦人科、小児科について、二次医療機関のバックアップを行うための救急医療体制の拡充・整備を図りたい。具体的な15床を確保すること、迅速、円滑な対応に必要な医師、看護婦などの配置についても十分に検討し、確保に努めたい。
 また、市内全ての救急告示病院が患者を受け入れられない状況でも、高度または特殊な救急医療が必要な場合を除き、全面的に二次医療機関のバックアップを行う医療体制を考えている。



電子計算機室

日本共産党千葉市議会議員団

大型プロジェクト・千葉中央港土地区画整理事業の中止について
 なぜ、まだ使える建物を買ってまで、この時期に区画整理を実施するのか。高潮対策の盛り込みにより、中央郵便局など段差が生じ、矛盾した街づくりが生じ、財政危機の中で、事業を中止して、予算全額と職員を福祉などにまわすべきではないか。
区画整理の整備手法は、土地の区画形質の変更や道路、公園などの公共施設の施設改善により市街地を形成するものであり、土地の形状、位置が変われば、建物も移転することになる。本事業で、公共施設工事に着手するため、移転に取り組んでおり、平成16年3月の基盤整備完了に向けて、ほぼ計画どおり進んでいる。高潮対策は、安全で災害に強い街づくりを行うためであり、周辺に十分配慮しながら調和のとったあり、一体的な景観をつくり上げたい。
 また、本事業は、商業、業務機能などの集積を図り、市民が水辺に親しむことのできる街づくりをめざして、地権者や施行者および市とが一体となつて取り組んでおり、今後とも目指す街の立ち上げに向けて着実に事業を推進していきたい。

校舎の修理・修繕について
 人口急増時代に建設した学校校舎の修理・修繕について伺った。耐震補強、大規模修繕を一緒に行うという点だが、もつとペースを早めるべきではないか。危険な場所や雨漏りなどは、児童生徒の安全確保や日常生活に支障をきたすものについて最優先として、学校の管理運営に万全を期している。

代表質疑から

2月19日 (市民自由クラブ・市政会)、22日 (民主新政クラブ・日本共産党千葉市議会議員団・千葉市議会公明党)、23日 (市民ネットワーク) の3日間にわたり、6会派の代表から平成11年度予算案などについて質疑が行われました。



千葉市議会公明党

介護保険導入の諸課題について
 介護サービス負担額の上限設定と低所得者層に対する減免措置について伺った。
 また、要介護認定における国のコンピュータによる一次判定への疑問および認定結果について、住民への責任ある説明ができるよう対応すべきか、伺った。
上限額の設定について
 は、介護サービスに要した費用の1割の自己負担額が一定額を超えた場合に、高額介護サービス費が支給される。減免措置は、介護保険制度上でできないこととされているが、低所得者については、高額介護サービス費について、一般より低い限度額を設定されるほか、施設入所の場合に食費の標準負担額でも配慮するべきか、伺った。



4月より新たに介護保険室が設置される福祉事務所

女性の自立支援、特に母子家庭および寡婦に対する支援について

男女共生社会の拠点施設として、今年中にオープンする女性会館では、ワープロ、パソコン、簿記などの技能習得やヘルパー養成などの女性の就業機会の拡大を図り、さらに母子家庭の母や寡婦に適切な職種の講習会などの効果的な支援に努めるべきではないか。
女性会館内の女性センターは、男女平等の社会的風土づくりや女性問題の解決および女性の地位向上、自立を目指して調査研究、情報収集・提供事業を行うほか、各種の相談や学習研修事業などを実施する予定である。
 女性に対する就業支援策については、就労に関する専門講座を開催するほか、ワープロやパソコンなどの技能習得講座の開催などについても検討していきたい。

可決した決議

議員提出議案として4件の意見書と3件の決議を審議し、次の1件を可決しました。

行政改革の着実な推進を求める決議

現在の暮らしを支える仕組みの多くは、戦後の復興期から高度経済成長期に構築されたものがほとんどである。しかし、21世紀を目前にして、我々の地域社会は大きく変貌し、価値観や生活様式が多様化により、公共サービスに対する需要は一層複雑で多岐なものとなっている。
 これまでの行政は、経済成長を前提に、様々な住民のニーズに対応してきたが、その一方で組織及び財政の肥大化や、行政運営の硬直化を招きやすい傾向にあった。
 しかし、これからの時代は、厳しい経済状況を乗り切り、多様化する市民ニーズに的確に対応していくことが求められる。
 本市においても、本市を取り巻く経済、財政環境は、今後なお厳しいものが見込まれ、一方、未来を展望したとき、政令指定都市にふさわしい都市基盤の整備や国際化、情報化への対応が求められ、さらに、少子・高齢化社会の到来にも対応しなければならない。
 よって、議会においては、議会みずからの問題として、今後ともより一層の議員定数の削減に努力することはもとより、執行部にあつては、現在取り組んでいる「行政改革」を着実に推進し、さらに、そのための情報公開、市民参加を促進するとともに、行政サービス、組織及び運営、職員の定員の見直し、財政構造の改革を図り、適切かつ合理的な行政改革を実現すべきである。
 また、時代の動向等を踏まえ、行財政運営全般について抱える新たな視点に立って見直しを進め、着実に行政改革を推進すべきである。

平成11年4月11日執行 千葉市議会議員選挙 各区選出議員数



委員会審査・調査から

常任委員会

3月1日に開かれ、市長提出議案45件、議員提出議案10件、請願6件を審査しました。

審査の結果、全市長提出議案を可決し、請願は、採択送付1件、不採択3件、継続審査2件となりました。

また、議員提出議案10件(使用料等の消費税率を5%から3%へ下げる旨の条例改正案)は、9件が否決となり、1件が議決不要となりました。



環境建設委員会審査風景

ました。

▼6歳未満児までの医療費の助成に関する請願 不採択

▼医療保険制度改定によって増加する老人医療の自己負担の助成を求める請願 不採択

環境建設委員会

一般会計補正予算や千葉市地下水浄化事業推進基金条例の制定など、議案7件(議員提出議案1件を含む)を審査し、土木費における蘇我町98号線事業および蘇我町線事業に関する事業の緊急性および重要性、開通時期も含めた今後の見通しなどについて、質疑がありました。

経済教育委員会

一般会計補正予算や千葉市体育施設設置管理条例の一部改正など議案14件(議員提出議案4件を含む)を審査し、こけし温水プールの設置に関して、プール使用料の基準を時間制にした理由や開館時間の設定根拠などについて、質疑がありました。

総務委員会

千葉市新総合ビジョン審議会設置条例の制定や千葉市外部監査契約に基づく監査に関する条例の制定など議案14件(議員提出議案1件を含む)、請願1件を審査し、新総合ビジョン審議会に關し、運営方針および設置期間ならびにシンクタンク設立との関係などについて、質疑がありました。

保健下水委員会

千葉市感染症審査協議会条例の制定や千葉市老人福祉センター設置管理条例の一部改正など議案18件(議員提出議案4件を含む)、請願3件を審査し、花見川いきいきプラザとその中に設置されるサービスセンターに關し、利用条件および利用料徴収の有無などについて、質疑がありました。



4月下旬にオープンするこけし温水プール<花見川区>

都市消防委員会

一般会計補正予算や千葉市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正など、議案6件、請願2件を審査し、特定優良賃貸住宅事業費に關して、空き室率とその原因および認定要件となっている住宅の利便性の検討状況などについて、質疑がありました。

▼千葉市民グラウンド・橋公園の施設整備並びに拡充に関する請願 不採択

▼住宅地における葬祭場オープンに関する請願 採択送付



新消防庁舎(セーフティーちば)<中央区>

大都市税財政制度・地方分権調査特別委員会

2月15日に開かれ、平成11年度国家予算に関する要望の経過報告および地方分権推進委員会の第5次勧告などについて調査しました。

少子・高齢化社会対策調査特別委員会

1月20日に開かれ、介護保険制度の概要と、高齢者介護サービス体制整備支援事業について調査しました。

予算審査特別委員会

- | | |
|----------|-------|
| 委員 長 | 片田 幸一 |
| 副委員 長 | 大塚 進 |
| 第一分科会 主査 | 茂手木直忠 |
| 同 副主査 | 中本 貞夫 |
| 第二分科会 主査 | 佐野 彰 |
| 同 副主査 | 結城 房江 |

平成11年度一般会計および特別会計予算案を審査するため、2月23

日に、全議員で構成する予算審査特別委員会(2分科会)を設置し、計6日間にわたり審査しました。また、予算案に関する総括質問が、7人の議員により行われました。

3月4日の予算審査特別委員会で、2分科会での質疑や意見について報告が行われ、各会計の11年度予算を原案どおり可決しました。

指摘要望事項

次の8項目は、予算審査特別委員会で市長に要望したものです。

- 市債については、残高が増加傾向にあるため、事業の精選や効率的な活用を図ることに努め、発行規模を抑制し、健全財政を維持するよう留意すること。
- 放置自転車対策については、自転車を市民の重要な交通手段と位置づけ、自転車駐車場の施設整備や、撤去経費の周知による利用者のモラル向上などの対策に努めること。
- 介護保険制度の実施に当たっては、利用者ニーズを満たす十分なホームヘルパー数の確保に努めるなど、その体制整備に遺漏なきよう期すること。
- 地下水の汚染対策については、地域住民の不安が一日も早く解消されるよう、水質浄化事業のさらなる推進に努めること。
- 市内経済の振興に当たっては、中

お知らせコーナー

傍聴のご案内

平成11年第1回臨時会は5月20日(木)に、第2回定例会は6月10日(木)に開会する予定です。

本会議は、原則として公開していますので、どなたでも傍聴できます。

傍聴は、本会議の当日、議会棟1階で受け付けています。

演奏会のご案内

6月10日(木)午後1時から、第2回定例会の開会に先立ち、本会議場で、東京フィルハーモニー交響楽団による演奏会を20分程度予定しています。

お聴きになりたい方は、当日議会棟1階傍聴受付までお越しください。傍聴席は92席です。

千葉市の施設

市民ギャラリー・いなげ(稲毛区)

- 小企業者に対する支援や商店街への各種施策を積極的にに行い、その活性化に努めること。また、部局間の連携が必要とされる施策については、総合的な執行体制を確立して取り組むこと。
- 特定優良賃貸住宅補助事業については、制度の周知やPRの充実に努め、空き室の解消を図ることにより、補助が有効に活用される事業内容とする。
- 公共下水道事業については、下水道整備済区域における未水洗化世帯の早期解消を図るとともに、汚水基本計画の見直しに当たっては、市街化調整区域内の市民ニーズの高い地域においても整備が図られる計画となるよう配慮すること。
- 小中学校については、少子化によ

- ### 総括質問
- 主な質問項目 —
- 行政改革について
 - 障害者・高齢者の暮らしについて
 - 障害のある市民とその家族のための施策について
 - 環境問題について
 - 建築行政について
 - 新港横戸町線について
 - 地域の諸問題について

紙から

表紙に掲載しました写真は、さる3月24日に開通した千葉都市モノレール1号線の千葉駅と東前駅間と新設3駅の様子です。

1号線の開通により、県庁へのアクセスが向上し、より千葉都市の交通体系が整備・充実されました。

すでに市民の足として利用されている2号線(千城台駅~千葉駅)は、千葉みなと駅まで暫定運行されていましたが、1号線(千葉みなと駅~県庁前駅)の開通にあわせて千葉駅止まりとなります。

今後は、県庁から先の星久宮ルートの整備が進められていく予定です。

「ちば市議会だより」発行委員会
問い合わせ先 議会事務局調査課
☎043(245)5472